

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者： (A組：山本(千)、増田) (B組：山本(千)、増田) (C組：増田、原) (D組：新鞍、原) (E組：増田、原)

使用教科書： ( Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope (啓林館)、ブレイクスルー3 6章 (美誠社)、ブレイクスルー3 6章ワークブック (美誠社)

英文法・語法 Vintage (いいずな書店) )

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、概要や要点、詳細、話し手の意図などを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりする力を身に付ける。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する力を養う。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	文型、時制、助動詞などの意味や用法を理解できている。	文の種類と文型、時制、助動詞					○	○	○	○	6
	定期考査										1
	受動態、不定詞や動名詞などの意味や用法を理解できている。	受動態、不定詞、動名詞					○	○	○	○	13
	日常的な事柄について自身の情報や考えを述べることができる。						○	○	○	○	2
	定期考査										1
2 学 期	否定、語法や代名詞などの意味や用法を理解できている。	否定、語法、可算名詞と不可算名詞、代名詞の用法、形容詞と副詞、前置詞、接続詞					○	○	○	○	12
	定期考査										1
	仮定法の意味や用法を理解できている。	仮定法過去、仮定法過去完了、shouldやwere toを用いた仮定法表現等					○	○	○	○	14
	日常的な事柄について情報を正確に描写することができる。						○	○	○	○	2
	定期考査										1
3 学 期	分詞、関係詞や比較などの意味や用法を理解できている。	分詞、関係詞、比較					○	○	○	○	14
	社会的な事柄について自身の情報や考えを述べることができる。						○	○	○	○	2
	定期考査										1
										合 計	70